

令和2年度第7回 浜松市障がい者自立支援協議会企画会議会議録

1 開催日時 令和3年3月4日（木） 午前10時00分～11時40分

2 開催場所 浜松市役所 32会議室

3 出席状況

エリア連絡会名	所属	出席者氏名
中エリア連絡会	中障がい者相談支援センター	藤川 晴海
	中区社会福祉課	飯塚 康敬
東エリア連絡会	東障がい者相談支援センター	玉木 祐次郎
		平野 明臣
	東区社会福祉課	久野 加津夫
西・南エリア連絡会	西・南障がい者相談支援センター	後藤 翔一郎
	西区社会福祉課	安間 俊弘
	南区社会福祉課	内藤 淳
北エリア連絡会	北障がい者相談支援センター	本宮 早奈映
	北区社会福祉課	梶田 和彦
浜北・天竜エリア連絡会	浜北・天竜障がい者相談支援センター	今田 将晴
	浜北区社会福祉課	島田 佐栄実
	天竜区社会福祉課	内山 敦子
	相談支援事業所シグナル	尾関 ゆかり
事務局	障がい者基幹相談支援センター	雨宮 寛
		山下 由佳
		松井 亮
		岸 直樹
		永田 貴裕
	障害保健福祉課	生活支援第2グループ
山内 愛美		

4 議事内容

(1) 専門部会について

相談支援部会 委託相談評価ワーキング

地域生活部会 こどもワーキング

(2) 令和3年度協議会スケジュールについて

(3) プロジェクト会議について

(4) 日中支援型グループホームの評価・助言について

(5) その他

5 会議録作成者 障害保健福祉課生活支援第2グループ 山内

6 記録の方法 発言者の要点記録

録音の有無 無

7 会議記録

(1) 専門部会について

○委託相談評価ワーキング

資料を元に事務局より説明

- ・評価結果を元にし、評価の全体像がわかるように数値化（5段階評価）していく予定。
- ・委託相談の今年度の活動を振り返り、来年度の活動計画に活かしてもらうこと、評価指標等について意見をいただくことを目的としてモデル評価を実施予定。3月半ば頃に評価指標を提供し、4月に提出してもらうことを考えている。

<意見>

- ・個別ではなく、センターとしての評価で良いか。
⇒（事務局）そのとおり。
- ・評価項目の「専門性・見立て」は設問が少ないので、5段階評価に影響しないか。
⇒（事務局）「発見・介入機能」と合算して評価をする予定。
- ・評価項目の「権利擁護」に成年後見についての項目が入っている方が良いのではないか。
⇒（事務局）次回のワーキングで検討する。

○こどもワーキング

資料を元に事務局より説明

<意見>

- ・エリア連絡会の活動の中で6～7月に事例検討会を開催するのは、スケジュール的に難しいのではないか。
⇒（事務局）開催期間に限りはないが、ツールのアップデートや機関連携の課題把握のため、できるだけこの時期に対応をお願いしたい。エリア連絡会の活動だけでなく、センター内の事例検討会でツールを活用してもらえると良い。

- ・計画相談支援事業所では、アセスメントに野中式を用いているため、ツールをケース会議でどのように活用すれば良いかを示してもらいたい。
⇒（事務局）調整する。事例検討会にあたっては、SVが必要と考えているため、ワーキングメンバーや基幹相談に役割を担っていただきたいと考えている。
- ・ツールの周知、アップデート、機関連携の仕組みづくりなど、取り組む内容が多すぎるのでスケジュール的に対応が難しいのではないかと。
⇒（事務局）スケジュールについて再調整する。
- ・ツール未使用の場合、監査項目にあたるのか。
⇒（事務局）活用をお願いしたいが、できる範囲で使用してもらえれば良い。

（２）令和３年度協議会スケジュールについて

資料を元に事務局より説明

- ・エリア連絡会からあげられた地域課題は事務局会議で受ける流れになるため、事務局会議の日程を意識して活動していただきたい。

<意見>

- ・来年度の当事者部会の日程は示されるのか
⇒（事務局）当事者部会は案件があれば開催する仕組みであるため、エリア連絡会として投げかけたいことがあれば連絡をお願いしたい。
- ・計画相談ワーキングは来年度活動をするのか。
⇒（事務局）まずは障害保健福祉課内で（仮称）サポートプラン等について調整後に活動をする。準備が整い次第、企画会議において活動の方向性等提案する。

（３）プロジェクト会議について

資料を元に事務局よりプロジェクト会議について説明

<意見>

- ・今年度２回目の市全体会で委員から就労や事業所についての課題があげられた。プロジェクト会議では、地域における幅広い課題の検討を行うということであるが、就労や事業所に関する課題はプロジェクト会議で取り扱うのか。
- ・地域生活支援拠点事業評価のための会議であることがわかるようにした方が良い。
- ・過去に別の目的で「プロジェクト会議」を設置したことがあるため、別の名称にした方が良いのではないかと。
⇒（事務局）プロジェクト会議は「総論」、専門部会は「各論」の分けとなるため、就労や事業所の課題を取り扱うのであれば、専門部会になる。
⇒（事務局）会議名や要綱等について再調整する。

資料を元に事務局より協議会手引きについて説明

- ・手引きの内容は随時更新していくもの。活用していく中で修正点等あれば提案していた

だきたい。

- ・ 今後は、各会議の流れについても追加していきたい。
- ・ 来年度から活用できるように準備を進めるため、意見があれば3月15日までに障害保健福祉課まで連絡を。

<意見>

- ・ この手引きはエリア連絡会構成員へ周知することは可能か。
⇒ (事務局) 構成員への周知は可能。今後、市ホームページへの掲載も検討したい。
- ・ 新任者にとってわかりやすい手引きになっている。

(4) 日中支援型グループホームの評価・助言について

資料を元に事務局より説明

様式等について意見があれば、3月15日までに障害保健福祉課まで連絡を。

<意見>

- ・ 地域移行に関する設問が入っていない。
- ・ 事業所とエリア連絡会を交えての話し合いの場が必要ではないか。
- ・ 短期入所は、電話で断ったケースについても区分がわかると良いのではないか。
- ・ 体験利用に関しては、体験利用後にどこにつながったのかがわかると良い。
- ・ 対象者の区分だけでは評価できない大変さへの工夫がわかると良い。
- ・ 評価の際に事業所の指摘だけをするのではなく、地域の活用できる資源として良い関係づくりをしていけると良い。
- ・ 区分3以上でないとう利用ができない、他県からケースを受け入れている等の現状が見られている。指定の段階で事業所としての役割を示していく必要があるのではないか。

(5) その他

- ・ (事務局より) 令和3年度よりエリア連絡会に健康づくり課が参画予定。4月に入ったら社会福祉課より健康づくり課へ声掛けし、参画について調整をお願いしたい。
⇒ 5月企画会議にて各エリアより状況報告

次回企画会議：5月27日(木) 10時～ 51会議室